

スーパー主婦として知られる整理収納アドバイザーの井田典子さん。日々の暮らしに真剣に向き合ってきたからこそ発信できる目からうろこの「家事哲学」。暮らしが整い、爽やかな風が吹き抜けるとはなんと気持ちのいいことか! 潔くも温かい、井田さんにお話を伺った。

☑ スーパー主婦って、誰!?

今から10年ほど前のこと、NHK「あさいチ」への出演は偶然だったんです。『婦人之友』読者の集まりである友の会への電話をたまたま私が取って、番組制作の方から「ご自宅の冷蔵庫の中を見せてくださる方はいませんか」と聞かれ、「私でよければどうぞ」と。

放送日の朝、新聞を見ると「スーパー主婦登場」と書いてあり、誰が出るのかしら?と思ったら、私の部分にそう冠がついていたんですね。本当にびっくりして、恥ずかしくて。私が何者でもない時にそんな風に紹介して下さったんです。でも、依頼をお断りしなければ、人生、道が広がっていくんだなあと勉強になりました。

☑ 即答できた好きなこと

趣味がないことが私の最大のコンプレックスでした。子育てが終わったころ、自分が打ち込めるものって何もなかったなあと、はたと気づいて。でも何が一番楽しいですかと問われたら、よそのお宅に伺って、片づけたり、引っ越しのお手伝いをするのが一番ですと即答できたんですね(笑)。ということとは、それを仕事にした方がいいのかなと、5年ほど前、整理収納アドバイザーの資格を取りました。

それまでは自宅で小学生の学習教室をしていましたが、お子さんの中には家の中がカオスで、ランドセルが見つからず学校に行けないという子もいて。弱者である子どもは環境を変えられないまま我慢するしかありません。何軒か伺ううちに、やはり私は暮らしを整えるお手伝いをさせてもらった方がいいかもしれないと感じました。

どんなお宅でも絶対良くなると思うので、現場が一番楽しいです。手足を動かせば必ず良くなる。これまで香港やスウェーデンなど海外も含め数百軒以上のお宅に伺いま

したが、大変な状態であるほど、燃えるんです(笑)。全国各地での講演やセミナーも楽しみながらやらせていただいています。

☑ 枠を決める

整理収納の9割は要・不要を分ける「整理」。収納はスペースの枠を決めて、その範囲に収まる物だけを持つようにします。収納スペースが広いほど、それを管理するエネルギーが必要になり、コンビニの棚のように絶えずチェックしなければなりません。私は消耗品のストックも最低限しか持たず、「なくなったら買う」ことにしています。そう決めてしまえば、赤札に揺れることもなくて楽なんです。迷いや不安はストレスのもと。「枠」を決める方が楽で、自由なんです。

物は増やさない方がいいという「知識」はあるのに赤札を見るとつい買ってしまうのは、その「知識」が「意識」に落ちていないから。頭の中にある「情報」と「心」に隔たりがあるため、物が増えると知っているのに買ってしまう。意識が変われば行動は変わります。

☑ 誰もが新しくなれる

片づけることは、心を整えること。物、時間、お金を整えることは、最後は心の問題なんです。というのは、子育てをしていた時代、長男がすごく荒れてしまいどうしていいかわからなかった時、私は無意識のうちに黙々と引き出しを片づけていました。片づくと、初めて目に見える形で自分を肯定できました。

自分を肯定できると心が平らかになり、平らになった自分が発する言葉は柔らかくなるので、相手の反応も変わりました。自分のことが嫌いで、自分を認められないと相手にも冷たい言葉しかかけられません。だからまずは自分を認めてあげることが大切なんですよ。



ヨコハマ **想**い vol.95

いつからでも
新しくなれる!

井田典子

整理収納アドバイザー
井田 典子さん
Ida Noriko

1960年生まれ、横浜市在住。整理収納アドバイザー1級の資格を持つ。1983年『婦人之友』読者の集まり「友の会」入会、横浜友の会会員。3人の子育て中からシンプルライフをめざす。モノの整理が心の整理につながることを実感し、片づけ依頼を受ける。2010年からNHK「あさいチ」スーパー主婦シリーズに出演。「モノと時間と心の整理」をテーマに講演・イベントを開催。『ガラクたのない家一幸せをつくる整理術』(婦人之友社)ほか著書多数。

次男から預かったピアノの前で。お年玉を貯めた次男が小5の時に中古で購入した

子どもの成長に伴って家族の時間がそろわない時期には、「私が時計になろう」と思っていました。「お母さんは朝何時に起きて、ご飯は何時にある」と。夕飯の時間が毎日決まっていれば安心して帰ってこられますが、何時にできるかははっきりしないと、「どうせ夕飯はまだだろう」と子どもの帰りもずるずると遅くなります。でもあまりがんばると倒れてしまうので、夜11時には「お母さんは閉店です」と宣言していました。

実はサインを書くことになったと話す、今はオーストラリアでDJをしている長男が考えてくれて。すごくうれしかったです。

「いつからでも新しくなれる」というメッセージは婦人之友社の創業者である羽仁もと子の言葉です。まずはテーブルの上、引き出し一つから片づけてみる。100点満点なんてないし、理想通りにできなくても自分を責める必要はありません。ご自身の最善であ

ればいいんです。誰もがいつからでも新しくなれます。

☑ 横浜に暮らして

娘に二人目の子どもが生まれるタイミングで「一緒に住まない?」と言われて、横浜に越してきました。今は良い距離感で二世帯で暮らしています。山坂が多いのですが、その分見晴らしが良く、空が広く感じられてすごく気持ちがいいんです。港からは汽笛も聞こえます。一番好きな風景は中央卸売市場の裏手。インターコンチネンタルホテルを望む景色が素晴らしく、ここを抜けていくのがお気に入りのサイクリングコースです。臨港パーク、赤レンガ倉庫の前を通って、元町や山下公園にも夫と自転車で行きます。映画もみなとみらいに自転車です。二人ともシニア料金で観られます。近郊の山歩きも楽しんでます。

4月16日(土)みなとみらいで相談会

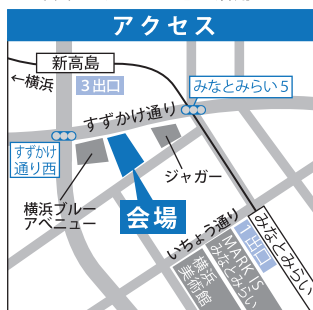
主催/積水ハウス 協力/フジサンケイ企画

相談会概要

- 日程 4月16日(土)
 - 時間 ① 9:30~10:10 ② 10:20~11:00
③ 11:10~11:50 ④ 12:00~12:40
 - ※ご希望の相談時間をお伝え下さい。後日、主催者より確定の連絡があります。
 - 定員 各回1組
※完全予約制、参加費無料
 - 相談員 横浜北仲通り法律事務所 弁護士 武藤 一久さん
 - 会場 横浜アイマークプレイス4F
みなとみらい線「新高島」駅3番出口より徒歩3分
みなとみらい線「みなとみらい」駅1番出口より徒歩5分
 - 申込 相談会事務局(フジサンケイ企画内)
- 0120-505-470**
10:00~17:00 無休
申込URL <https://ansapo.jp/semi/1816>
※応募者の個人情報は、相談会運営と今後の案内に利用します。

相続で悩みを抱える地主さん必見 大切な資産を守る方法とは 底地(貸地)問題のお悩み解決相談会

- こんな悩みはありませんか
- 安い賃料で貸している
 - 底地を相続した
 - 底地の更新がせまっている
 - 底地を売りたい
 - 今貸している土地を活用したい



「底地を相続したけれど、地代の相場を知りたい」「地代を上げることはできる?」「借地人との交渉が心配」このような悩みや不安を抱える地主さんも多いのでは。相続税の課税対象となる貸地(底地)は、地主さんの土地でありながら自由に活用できず、相続税に加え固定資産税の負担も多く対策の必要があります。また、自分で解決しようとして、トラブルに発展する場合もあるのだとか。

そこで積水ハウスでは弁護士の武藤一久さんを講師に迎え相談会を開催しま

す。不動産相続のなかでも特に悩みの多い「貸地(底地)」について、底地の基本的な考え方から、地代の改定、名義変更や売却などの悩みにわかりやすくアドバイスしてくれます。誰に相談していいのかわからない底地のこと。この機会に気軽に参加してみませんか。

お気軽に
ご相談を

